

華



精華女子高等学校同窓会
第十二号
題字 創設者 吉田マツ先生

ご挨拶

理事長 吉田 幸滋



明治四十二年、初代理事長吉田マツにより創設されました本学園

は、令和五年度に創立百十五年目を迎えることとなりました。これも偏に萬昭子同窓会々長様をはじめ同窓会の皆様方からの厚い御支援のお蔭であります。先ずもって深く感謝申し上げます。

今春、高校から三百十九名、看護専攻科からは二十四名の卒業生を送り出しました。これで女塾以来の卒業生総数は三万四千四百三名となりました。

感染症の分類が五類に移行しました新型コロナウイルスですが罹患者を増やしつとも、学校に於いては元の日常に戻りつつあります。吹奏楽部とダンス部は、四年振りに本格開催となりました「博多どんたく港まつり」に出場し、分刻みのスケジュールを見事にこなし沿道から万雷の拍手を頂きました。

部活動では、今年初めてバスケットボール部に留学生の新人

生を迎えました。部員全員の頑張りの結果、今夏のインターハイ出場が決まりました。同部は九州大会にも優勝をしており、今後の活躍に期待が高まります。吹奏楽部は、今夏五年振りに「サマーコンサート」を福岡シンフォニーホールにて行いました。その吹奏楽部ですが、来春、博多座で公演予定の「新生！熱血ブラン少女。」に出演が決定しました。七年振りに、主演の博多華丸さんと共演することになります。なお今回は博多座公演の後、大阪の新歌舞伎座でも公演を予定しております。関西地区に在住の卒業生の皆様にお目にかかる機会を頂きました。今年、入学した四百五名の新生ですが、時代に合わせて制服を一新致しました。校内に新しい風が吹いて来ているように感じます。

結びに、本学教職員は今後も建学の精神を真摯に継承して参りますことを同窓会の皆様にお誓い申し上げます。御挨拶と致します。

ご挨拶

校長 富田 一大



令和五年四月に荒木裕幸・前校長先生の後任として着任した富田で

ございます。伝統ある精華女子高等学校とのご縁に感謝し、学校のさらなる発展に向けて精一杯尽力する所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。また、日頃から本校教育の振興及び充実と在校生支援に多大なるご援助をいただいている同窓会の皆様に心から御礼を申し上げます。

精華女子高等学校は令和五年度で創立百十五年目を迎えております。「仏教精神に基づく人格教育」という建学の精神を堅持し、「感謝の心」「思いやりの心」を持った人間の育成に努めていくことをお約束いたします。同窓会の皆様方が大切に守り、繋いでこられた伝統を在校生にもしっかりと受け継がせる教育を行ってまいります。

一方で時代の変化や要請にも柔軟に対応することも大切であると考えています。現在、生徒全員にタブレットを配布して様々な教育ツールの活用をはかるとともに、よりわかりやすく、より理解を深める授業を目指し、ICT教育を積極的に推進しています。また、令和五年度入学生より新制服が導入されました。これは在校生や中学生の意見や要望を取り入れ、生徒の個性に合わせた

ご挨拶



同窓生の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

皆様が楽しみにされていた「同窓会懇親会」はコロナウィルス感染症の猛威により延期となっておりますが、令和六年十一月十六日土曜日に開催決定となりました。場所は、皆様の交通事情を考慮し、博多駅筑紫口の「オリエンタルホテル福岡博多ステーション」にて開催いたします。

理事長先生・校長先生、先生方もご出席頂きます。また、恒

多様な着こなしが可能となっている点で画期的な制服です。新しい制服に身を包んだ後輩たちを見かけられることもあると思います。暖かい目で見守っていただくようお願いいたします。

トボール部が四年ぶりに福岡県代表として、令和五年六月に開催された九州大会で優勝、そして令和五年度全国高校総体（北海道インターハイ）ではベスト8まで進出する活躍を見せてくれました。ダンス部も令和五年度日本高校ダンス部選手権に九州代表として参加することとなりました。吹奏楽部は例年のように、全日本吹奏楽部コンクールやマーチングコンテストで優秀な成績を残すものと確信しています。全国大会等においての本校部活動生の活躍を、今後も数多くご報告できるものと思っています。

精華なでしこ会の皆様には今後とも母校への変わらぬご支援をいただきますようお願い申し上げます。ご挨拶といたします。

同窓会会長 萬 昭子

例の福引もありますので是非ご出席下さいますよう、心よりお待ちしております。

☆皆様へ

来年四月、博多座と大阪新歌舞伎座で「熱血！ブラン少女」が上演されます。

☆お願い

住所、電話番号の変更、結婚による改姓、転居される場合はご連絡をお願いします。

精華女子高校
同窓会
QRコード



クワイで読み込むと
同窓会お知らせページ
に飛びます！

変わらないために、 変わり続ける 吹奏楽部 顧問 櫻内 教昭



新型コロナウイルスの流行により、部活動の在り方が大きく変わろうとしています。加えて「働き方改革」の影響で、全国的に部活動の縮小や廃止が増え、部活動に参加する生徒自体が激減しています。

先日、中学校の先生方が、今までは全校生徒の約八割が部活動に参加していたが、今年は五割にも満たないと話しておられました。全日本吹奏楽連盟のHPでも「加盟団体数は、二〇二一年度に比べ、全体



で百三団体の減となり、合計は一万三千四百七十二団体です。すべての部門で減少し、この二年間では二百十五団体が減少しました」とあり、部活動とりわけ吹奏楽部を取り巻く環境が、年々厳しくなっているように感じています。

このような厳しい状況にあっても、精華女子高等学校吹奏楽部は、今年度一年生四十六人を新たにメンバーに迎え、五月のどんたくパレードでは「RKB毎日放送賞」を受賞。六月に行われたマーチングコンテスト県大会では金賞を受賞し、十月の九州大会に駒を進めました。また、吹奏楽コンクールは、八月に九州大会で金賞を受賞し、今年も全国大会に推薦していただくことが出来ました。さらに、来年四月には博多座と大阪新歌舞伎座で「熱血！ブラバン少女」第二弾が上演されることも決まっています。感染症による色々の規制や制限がなくなった今年度は、以前と変わらず、大会や

自分らしさを大切に

ダンス部 顧問
調 佑佳

日頃よりダンス部へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私自身、ストリートダンスをしており、教員になってダンス部の顧問になることを夢見ておりました。本校に赴任し、平成十八年の秋、おわかれ会のステージへ出演するために、教員と生徒の有志チーム「QUEEN☆BEE」として集まり、活動を始めました。平成二十一年に同好会発足、そして平成二十四年に部活動へと昇格しました。たくさんの方々を支えていただき、今年度（令和五年）

地域のイベントで皆様の目に触れる機会が多くなってくと思っています。

一方、強豪校として、長いことが当然のようになっていた練習時間を、水曜を休養日、朝練も月曜はなしにしたことは大きな変化でした。練習不足の危惧に反して、生徒自身が限られた練習時間をいかに効率的に使うか、ということを考えて行動し、より集中して練習するようになったと思います。

どんな状況に直面しても、精華らしさを失わず、伝統を守り、変わらずに活動が続けるために、変わり続ける精華女子高等学校吹奏楽部に、今後とも応援をよろしくお願いいたします。

で創部十二年目となります。一年生三十三名、二年生二十名、三年生十七名の総勢七十名で活動しております。

大会実績としては、これまでに四度の全国大会優勝経験があります。大会以外にも、博多どんたくや地域のイベント、保育園や介護施設から出演依頼をいただき、お客様の前でダンスを披露する機会をいただいております。生徒たちと共に、お客様に楽しんでいただきたいという思いで会場へ向かいますが、実はいつも元気をもらっているのは私たちの方です。見てくださる方々からたくさん声援や拍手をいただき、もっと練習しよう、もっと上手になつて、たくさんの方々に見ていただきたいという思いが練習の原動力となっています。

ダンスを通して、仲間やライ



バルだけでなく、たくさんの方々との出会いを経験させていただいております。生徒たちには、お互いを認め合いながら、一人一人にしか出せない自分らしさを大切にしていてほしいと考えています。

ダンス部OGである古部鈴七コーチがダンススキル向上のためのレッスンを、同じくダンス部OGであり本校教員の川原田萌先生が副顧問として加わり、さらに充実した体制となりました。これからも、たくさんの方々から愛される「ダンス部「QUEEN☆BEE」」を守ってきたいと思います。



体育部の活動

バレーボール部

日頃よりバレーボール部の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。私たちはチームのスローガンである、「精進の華咲かせ」をモットーに日々練習に励んでいます。

数年前には部員がわずか一名となり、部活動自体の存続が危ぶまれた時期もありましたが、当時の部員たちの「どうにかしてバレーボール、部活動を続けたい」という熱い想いが実を結び、今日まで活動を続けることができました。

先日、天皇杯・皇后杯を最後に三年生が引退し、部員が四名

顧問 村瀬 智哉

となつてしまいましたが、二年生の新キャプテンを中心として来る春高バレーの予選に向けて練習と部員の勧誘に励んでいます。これまでの先輩方や指導者の方々から繋がれてきたボールを今後の代へと渡せるように部員たちも日々の活動に取り組みんでいます。チーム目標の「全員バレーでの一勝」に向けて今後も部活動に取り組み、



その2

今回、バレーボール部・卓球部のご紹介をします！



卓球部

昭和六十三年に十三年振りのインターハイ出場（団体ダブルスを果たしたのを機に、平成元年に県大会三冠（団体・単・複）平成二年には九州大会でダブルス二連覇、全日本選手権大会ジュニアの部でベスト十六、平成六年には九州大会三冠、インターハイで単・複ベスト八入賞（このときの単ベスト八の金氏雅美さん（横手中学校出身）は実業団入社後、平成九年に全日本選手権混合ダブルスで日本一）等、輝かしい実績のある部活動です。令和三年度から顧問となりました私は、元々の専門がバスケット

顧問 城戸 樹里

トボールという事もあり、卓球に対しての知識・技能がありませんでした。精華女子高等学校卓球部の今までの歴史を支え守っているのかとの不安な思いを抱えながら、長年顧問をされていた西田研輔先生に相談したところ、「卓球を楽しい」と思われる指導を」とアドバイスを受け、心が少し軽くなりました。



自分の目標に向かって努力を重ねています。また、『卓球』という競技と出会えたことに感謝し、生涯スポーツとして関わっていきたいと思っているようです。生徒たちが生き生きと活動し成長できたと思います。

Seika New Style

令和5年度新入生制服リニューアル！

標準服に加え、色違いのシャツ、リボン、ネクタイがありさらにセーター、ベスト、パーカーなどオプションもいろいろ。約600通りの制服の組み合わせができ通学スタイルは生徒が選ぶことが可能です。



Seikaの
制服が新しく
なりました!!

組み合わせ
約600通り

料理教室

昭和四十一年卒
川口 奈美子

料理が大好きで、楽しい教室をと思い、五十九歳で料理教室を始めました。

コミュニティセンター・文化ふれあい館・公民館で第二・第四週の月々金曜日、週五回開催。笑いと思いやりのある教室を心掛け、十七年になります。料理を通して仲間作りから始まり、どの教室も段々と和氣あいになり、皆様からの口コミで某新聞社からの依頼で開催した料理教室には二十名もの方々にご参加頂き、大変有意義な教室となり、今では嬉しい思い出の一つです。取材して頂き、心から楽しい会・思いやりの笑顔の会・交流できる会の開催の様子にこれからあるべき姿を教室の皆様と一緒に思い、既に辞められた方々のお顔も浮かんで、私自身教室を開催してきた事を心から喜んでおります。

皆様との交流も深まり、年に一度生徒さんの別荘に行つてわらび採りをしたり、お花見・ダーツ・歩こう会・外での食事会など色々楽しんで来ましたが、なぜか悩み相談もいろいろ受けることもあります。コロナ以外一回も教室を休むことなく続けて来られた事は、私の大きな財産です。今年三月で教室を終わらせる方向で生徒の皆様にお話をしましたところ、何とか続けてほしいとの事で、曜日を半分減らし、いつまで出来るか分かりませんが頑張るつもりです。



進学先

※現役全員合格・延べ数

国公立大学 7名

九州大学	1
岡山大学	1
信州大学	1
福岡女子大学	1
福岡県立大学	1
宮崎公立大学	1
周南公立大学	1

私立大学 94名

西南学院大学	11
福岡大学	17
九州産業大学	5
中村学園大学	6
筑紫学園大学	9
洗足学園音楽大学	1
ほか	

私立大学 94名

専門学校 71名

短期大学 105名
(精華女子短期大学他)準大学(一次合格) 3名
防衛大学校 3名

令和4年度 進路状況

就職決定率

100%^{14年連続}

主な就職先

スプーンシュガー・西鉄ホテルズ
博多グリーンホテル
リョーユーパン
ニューイングベーカー
名月堂・千鳥屋本舗
一柳・福新楼 ほか

希望者全員合格

同窓会のお知らせ

2024年11月16日(土) 13:00～

会場／オリエンタルホテル福岡博多ステーション

(当番学年) S52,53,54,55,56,57年3月卒業生

皆様のお越しを心よりお待ちしております。

発行 精華女子高等学校同窓会
住所 福岡市博多区住吉四十九-1
電話 (〇九二) 四三二-一四三四
印刷 株式会社インテックス福岡

学校や同窓会の名を使って依頼等の電話があるようですが、同窓会からのお願いは必ず文書で行い、電話で行う事は一切ありません。

◆ご注意◆

今回も先輩・後輩の素晴らしい活躍に感動しながら「華」の制作をさせて頂きました。御多忙中にもかかわらず、快くご寄稿頂きました皆様、誠に有難うございました。心より厚くお礼申し上げます。

編集後記

2021・2022年度同窓会記念
事業積立金収支決算報告書
(2021.4.1～2023.3.31)

【収入の部】 (単位: 円)

費目	決算額
前年度繰越金	1,006,229
繰入金	2,000,000
受取利息	27
収入合計	3,006,256

【支出の部】 (単位: 円)

費目	決算額
寄付金	0
次期繰越金	3,006,256
支出合計	3,006,256
令和5年度へ繰越金	3,006,256円

2021・2022年度同窓会
積立金収支決算報告書
(2021.4.1～2023.3.31)

【収入の部】 (単位: 円)

費目	決算額
前年度繰越金	2,713,872
繰入金	2,000,000
受け取り利息	55
収入合計	4,713,927

【支出の部】 (単位: 円)

費目	決算額
次期繰越金	4,713,927
	0
支出合計	4,713,927
令和5年度へ繰越金	4,713,927円

以上、決算報告いたします。

令和5年6月24日 精華女子高等学校同窓会 会長 萬 昭子
副会長 梅津由美子
会計 野田由貴子
監査の結果、相違なきことを認めます。
令和5年6月24日 精華女子高等学校同窓会 監査 久保 弘子
〃 財務 絹子

2021・2022年度
同窓会収支決算報告書
(2021.4.1～2023.3.31)

【収入の部】 (単位: 円)

費目	決算額
前年度繰越金	7,454,783
同窓会入会金	6,930,000
同窓会総会費	0
受取利息	115
雑収入	89,066
同窓会積立金取崩収入	0
収入合計	14,473,964

【支出の部】 (単位: 円)

費目	決算額
同窓会総会費	0
広告費	0
広報費	0
会議費	71,890
校友会部活動後援費	394,050
役員手当	265,000
通信費	32,914
印刷費	331,870
事務用品費	239,267
交通費	231,700
慶弔費	572,002
雑費	3,300
別途積立金	4,000,000
交際接待費	0
備品費	0
予備費	0
現金繰越金	252,780
次期繰越金	8,170,828
支出合計	14,565,601
令和5年度へ繰越金	8,170,828円